



山政研 代表質問

# 般質問

高知尾正義 議員

- 東日本大震災による山武市の現況について  
Q 山武市内の地震及び津波による被害と復旧状況を伺います。
- A 市長 道路被災箇所は198カ所、成東地区83カ所、山武地区58カ所、松尾地区31カ所、蓮沼地区26カ所で、今年度中の完了を目指しています。
- A 総務部長 8月末の建物被害棟数（居宅）は、全壊43棟、大規模半壊150棟、半壊278棟、床下浸水250棟、一部損壊230棟、合計951棟、居宅以外を含めると1千144棟、液状化家屋は18棟を確認しました。

- Q 今後の防災・復興対策について伺います。
- A 総務部長 等の調査、身上書のみで、昨年度と比較すると、4万9千人、26%の減となっています。

- Q 人事異動の手順について伺います。
- A 総務部長 人事異動の手順を伺います。
- A 総務部長 今現在は明確な基準を定めていません。今後、基準の策定・作成に当ります。大雨等の土砂崩壊の危険については把握しています。
- 市職員及び行政組織について

- Q 人事異動の手順を伺います。
- A 教育部長 地域の方が施設を利用して、自動的なクラブ活動が活発化するよう支援すること

- A 経済環境部長 農地への海水の流入に伴う用排水路護岸の崩落、砂の堆積、排水施設の損壊です。
- A 海水浴場の入込客数と蓮沼ウォーターガーデンの入場者数について伺います。
- A 経済環境部長 海水浴場は計6カ所開設しました。入込客数は約7万6千人、昨年と比較すると9万5千人の55.6%の減です。原因は、震災によるレジャーの自粛、津波への不安、天候の不順等が影響していると思われます。また、蓮沼ウォーターガーデンの入場者数は、13万9千人で、昨年度と比較すると、4万9千人、26%の減となっています。

- A 市長 山武市災害復旧・復興本部を立ち上げ、災害復旧・復興基本方針を作成しました。これは、山武市の東日本大震災からの復旧・復興に向け、将来のまちづくりの基本的な姿勢や取り組みの方向性を示すものです。

- A 市長 職場で充実感を持って働く環境を作るには、上司の務めだと思います。
- A 教育部長 市民部と協力して、出張所の体制づくりを進めました。出張所の職員は年々減少しています。出張所に行けば、全部用が足りると思っている市民は、まだ多いのは事実です。この点についてどう思われますか。

- A 市長 一定の役割しと協働して、今後のみちづくりを進めています。大雨等の土砂崩壊の危険については把握しています。
- 市職員及び行政組織について
- Q 公民館施設の機能や活動の充実が必要と思うがどう思われますか。

- A 教育部長 地域の方が施設を利用して、自動的にクラブ活動が活発化するよう支援すること
- Q 出張所は、防災や土木、環境等の生活に密着した、あらゆる分野の苦情や相談が寄せら

- 提出を踏まえ組織や配置人数を総合的に加味し、人事異動案を作成し最終的に市長、副市長等と協議し人事の発令をします。
- Q 蓮沼出張所の並びで務すれば、地域の利用者が便利になり地域コミュニティーの構築に大変有効と考えるがどう思われますか。

- Q 蓮沼中央公民館は、運営が重要な構築だと考えています。出張所長が館長を兼務すれば、地域の利用者が幅広い業務で、すべてに対応することは非常に困難です。今後は、本府との連携も図り努力をしていきたいと思います。

- さんむ医療センターについて
- A 市民部長 出張所は幅広い業務で、すべてに対応することは非常に困難です。今後は、本府との連携も図り努力をしていきたいと思います。
- Q さんむ医療センターについて
- A 市民部長 出張所は幅広い業務で、すべてに対応することは非常に困難です。今後は、本府との連携も図り努力をしていきたいと思います。

- Q 出張所は、防災や土木、環境等の生活に密着した、あらゆる分野の苦情や相談が寄せら
- Q 出張所は、防災や土木、環境等の生活に密着した、あらゆる分野の苦情や相談が寄せら
- A 保健福祉部長 医師数は平成23年3月末で27人。今年度の目標は29人とし、9月1日現在、目標の29人を確保してい